

国立国語研究所シンポジウム「係り結びと格の通方言的・通時的研究」  
(2020.9.20 オンライン開催)

# 福島県北部方言における 文の情報構造とイントネーション

白岩広行(立正大学)

# 発表の要旨

【対象の方言】福島県北部方言（福島市周辺）

【データ】母方言話者である白岩の内省

【分析する言語項目】

- 格助詞「が」
  - イントネーション
- } 文の情報構造



## 国研「危機言語・方言プロジェクト」の統一調査票 で話者の内省を尋ねると……

- イントネーションが例文の文法性判断に関わる  
ことがあるそう
- イントネーションについて話者に内省を求める  
のは難しい

……自分で内省してみた

# 発表の要旨

イントネーションは重要

## 【結論】


文の項(主語)に焦点がある場合……

- イントネーションによる焦点標示は義務的
- 助詞「が」は任意で生起する  
(下地2019aの脱主題化仮説によると「が」には主語が非主題であることを標示する機能がある)



# 発表の構成

1. はじめに: 考えるべき要素の整理
2. 方法
3. 京都市方言の主語標示(竹内・松丸2019より)
4. 福島県北部方言の主語標示
5. まとめ・今後考えたいこと



本発表は国立国語研究所プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」、JSPS科研費JP19H01255(日琉諸語の有標主格性に関する基礎的研究)、JP19K00622(福島県相双方言の調査研究—方言研究は被災地にどのように貢献できるか—)の助成を受けた研究成果の一部です。

# 1. はじめに: 考えるべき要素の整理

## [要点]

- 格・情報構造の標示に関わる要素を列挙
  - 変数はかなり多数
  - イントネーションはそのうちのひとつ

# が

## 格

他動詞文主語 (A) } の標示  
自動詞文主語 (S) }

## 情報構造

非主題 (新情報) の標示  
(脱主題化仮説、下地2019a)

格と情報構造は  
複合的に  
標示される

# 関係する要素

## 【名詞句自体の意味特性】

- 有生性(有生 > 無生)
- 動作主性(A > SA > SP)

[補足]

A: 他動詞主語

SA: 自動詞主語(動作主)

SP: 自動詞主語(対象)



# クロス階層モデル(下地2019a、b)

有生性、動作主性が高いほど無標で主題と解釈されやすい  
→ 主題でないとき助詞「が」で脱主題化しやすい



	代名詞	有生	無生
A: 他動詞主語	あいつが箱をつぶした	弟が箱をつぶした	岩が車をつぶした
SA: 自動詞主語(動作主)	あいつが立ち上がった	弟が立ち上がった	岩が転がってきた
SP: 自動詞主語(対象)	あいつが倒れた	弟が倒れた	岩が砕けた

# 関係する要素

左側ほど焦点が  
標示されやすい

## 【焦点階層】(下地 近刊)

- 焦点化の要素(主語 > 目的語 > 述語)
- 焦点タイプ(対比焦点 > WH応答焦点 > WH焦点)

項(主語)焦点の場合……

「誰がガラス割ったの？」 WH焦点

「俺がガラス割っちゃったんだ」 WH応答焦点

「太郎がガラス割ったの？」

「太郎じゃない。俺がガラス割っちゃったんだ」

対比焦点

# 関係する要素

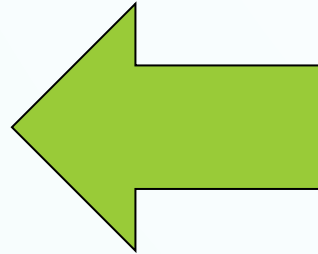
## 【その他の条件】

- 文体差（高いスタイル＞低いスタイル）
- 節の特性（連体節＞主節）

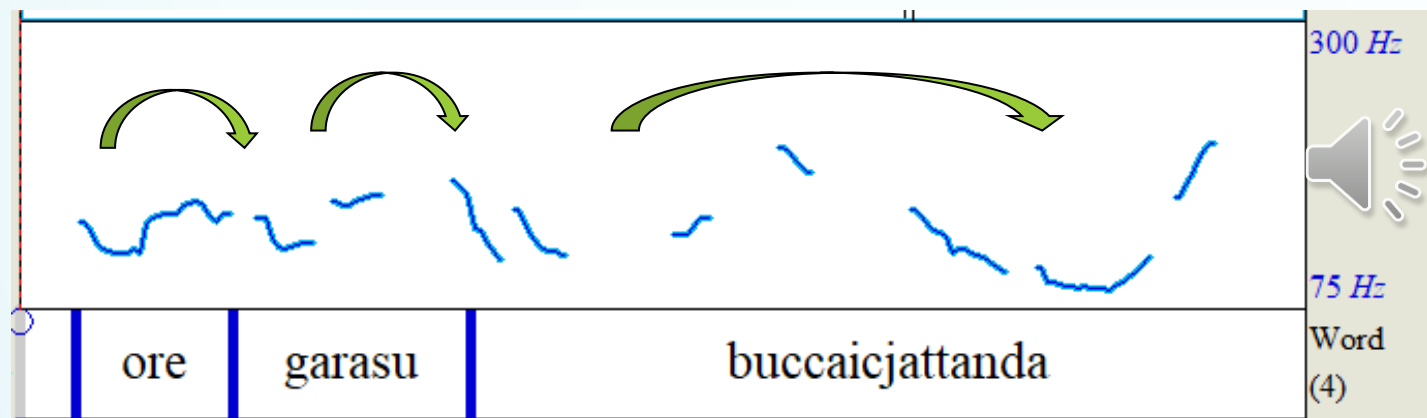
# 関係する要素

## 【標示の手段】

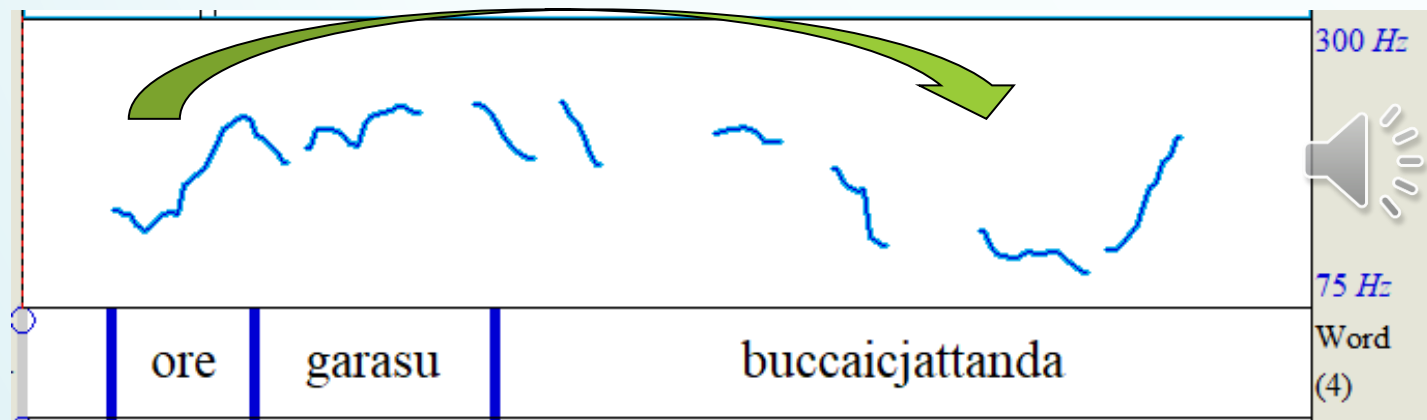
- 格助詞
- 語順
- イントネーション



俺のガラスのぶっつあいちゃったんだ。(破っちゃったんだ。)



語ごとに上下の山  
→ 項に焦点なし  
(文焦点)




「俺」から山が一体化  
→ 「俺」が焦点



福島県北部方言(白岩内省)



[補足]

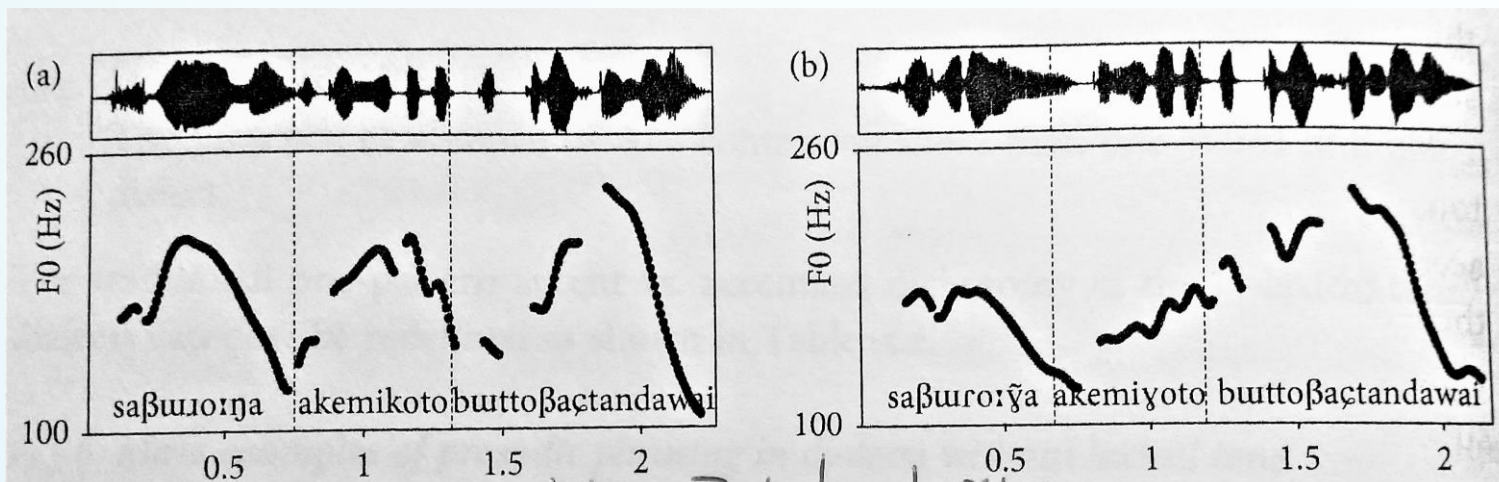


話者によってはガラスのような硬いものを「ぶつつあく」と言わないこともあるが白岩は使用する。

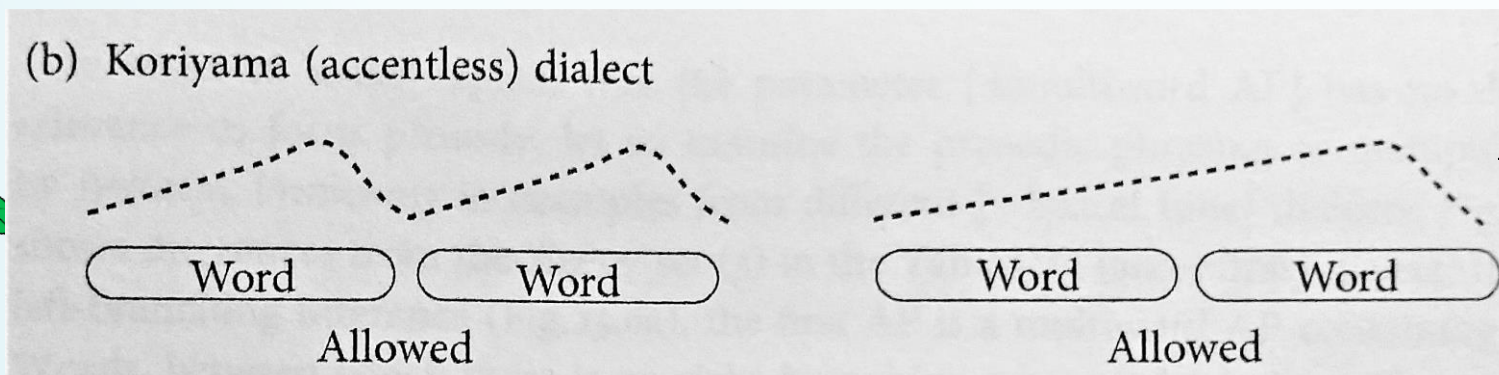


三郎が 明美こと ぶっとばしたんだわい。(Igarashi 2014)

福島県郡山市方言



一体化した山 = AP  
(Accentual Phrase)



語ごとに上下の山  
→ 焦点なし(文焦点)

akemiから山が一体化  
→ akemiが焦点



## 【名詞句自体の意味特性】

- 有生性(有生 > 無生)
- 動作主性(A > SA > SP)

## 【その他の条件】

- 文体差
- 節の特性

## 【焦点階層】

- 焦点化の要素とタイプ
  - ・文焦点 ・述語焦点
  - ・項焦点(WH応答)
  - ・項焦点(対比)

## 【標示の手段】

- 格助詞
- 語順
- イントネーション

コントロールしにくい

## 【名詞句自体の意味特性】

- 有生性(有生 > 無生)
- 動作主性(A > SA > SP)

## 【その他の条件】

固定

- 文体差 = 家庭内
- 節の特性 = ノダ文主節

変数

白岩の内省

## 【焦点階層】

- 焦点化の要素とタイプ
  - ・文焦点
  - ・述語焦点
  - ・項焦点(WH応答)
  - ・項焦点(対比)

## 【標示の手段】

- 格助詞
- 語順
- イントネーション


コントロールしにくい



## 2. 方法



### [要点]

- 
- 発表者(白岩)自身の内省を使う



内省者  
白岩広行

1982年8月26日、福島県伊達市生  
男性、両親とも伊達市出身

18歳まで福島県中通り地方生育






0-5歳：福島市、5-7歳：伊達市、

7-12歳：郡山市、12-14歳：白河市、

14-18歳：福島市、18-30歳：大阪府、

30-34歳：新潟県、34-37歳：東京都

(学生時代に演劇の経験あり)

- 
- 
- 
- 
- 
- 研究者自身の内省の分析はコロナ状況下でも可能  
(白岩の内省はどなたでもお尋ねください)

# 3. 京都市方言の主語標示

(竹内・松丸2019より)

## [要点]

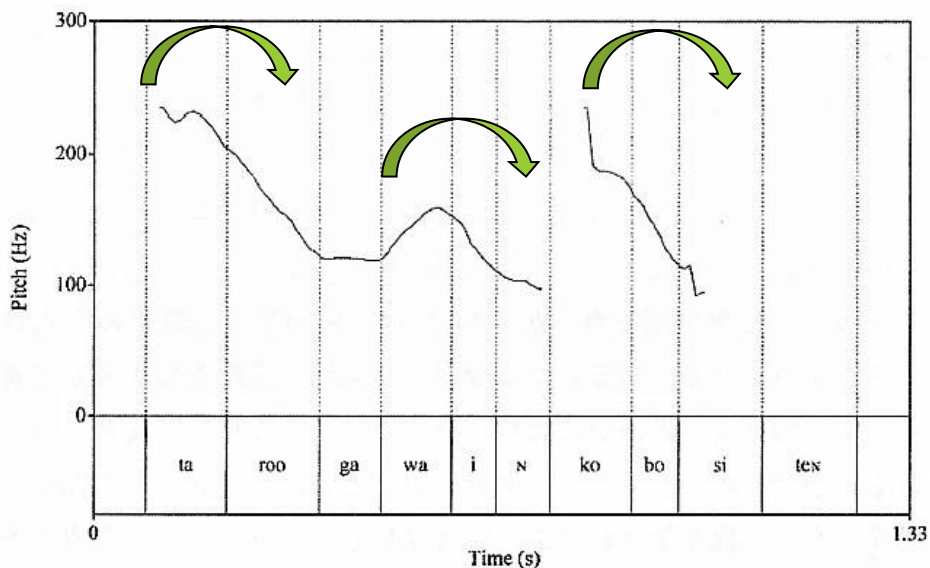
- イントネーション句による焦点標示がある
- 項焦点(主語＝焦点)の場合、助詞「が」とイントネーションの両方で焦点を標示  
(WH応答焦点で主語がSPの場合を除く)

# 太郎がワインこぼしてん。(竹内・松丸2019) 京都市方言

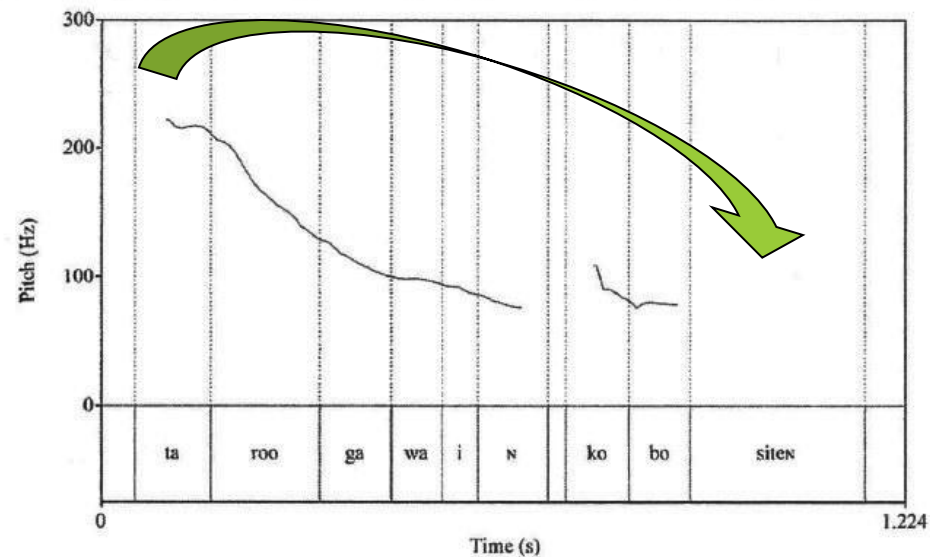
## 文焦点

## 項焦点 (WH応答)

(26) 他動詞文「太郎(が)ワインこぼしてん」 ※ガの標示は任意



(32) 他動詞文「太郎がワインこぼしてん」 ※ガの標示は必須



福島と同じ

「太郎が」からイントネーション句を形成  
→ 「太郎が」が焦点

## 京都市方言の主語標示(竹内・松丸2019より白岩が整理)

	「が」標示	イントネーションによる 焦点標示
述語焦点	不可	なし
文焦点	任意*	なし
項焦点(WH応答、SP)	任意	なし
項焦点(WH応答、A・SA)	必須	あり
項焦点(対比)	必須	あり

\*標示の有無は有生性、語順が関わる

「が」とイントネーションの両方で標示



## 4. 福島県北部方言の主語標示

### [要点]

- 項焦点の場合、イントネーションによる焦点標示は必須
- 「が」による非主題の標示は任意  
→ 程度差の問題として見るべき  
(有生性・動作主性・スタイル差)

# 内省する例文

	1人称	代名詞	人間	無生物
A (A文頭)	俺がガラスをぶっつあい ちゃったんだ。	あの人が	先生が	瓦が
A (P文頭)	ガラスを俺がぶっつあい ちゃったんだ。	あの人が	先生が	瓦が
SA	俺が急に動いたんだ。	あの人が	先生が	洗濯機が
SP	俺が濡れっちゃったんだ。	あの人が	先生が	洗濯物が

主語以外は同じ文



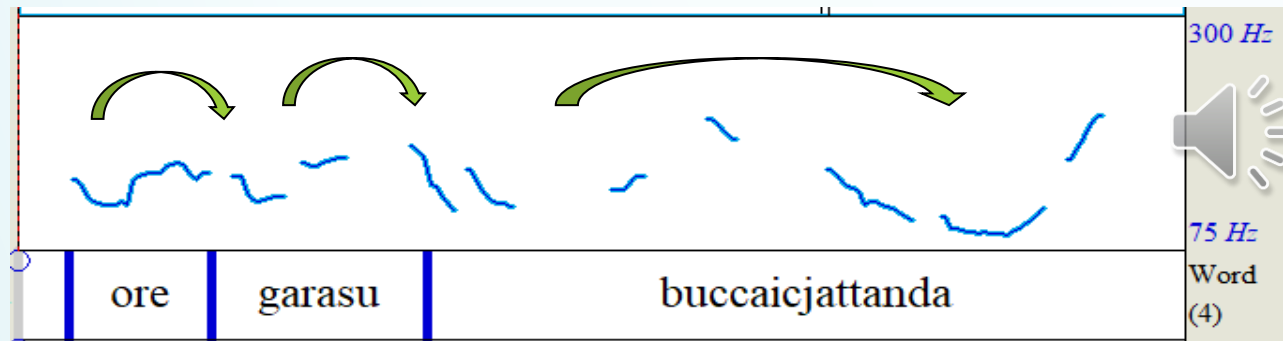
## 情報構造の標示の手段

- 助詞「が」の生起
- イントネーションによる焦点標示  
→ イントネーションによる主語の卓立が見られれば例文に「卓」と表記

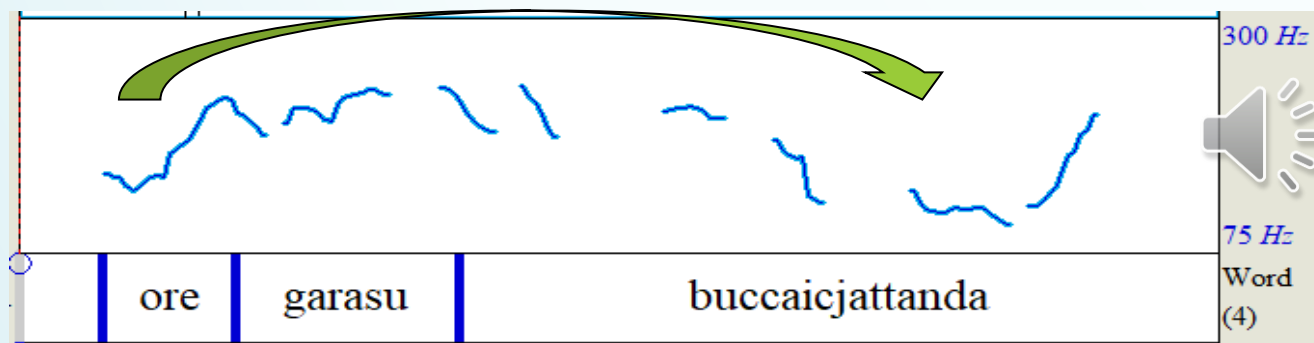
## 【文焦点】

「なんでじいちゃん慌ててんだい？」

「俺{ $\phi$  / \*卓}ガラスぶっつあいちゃったんだ。」



語ごとに上下の山  
→  $\phi$  (標示なし)

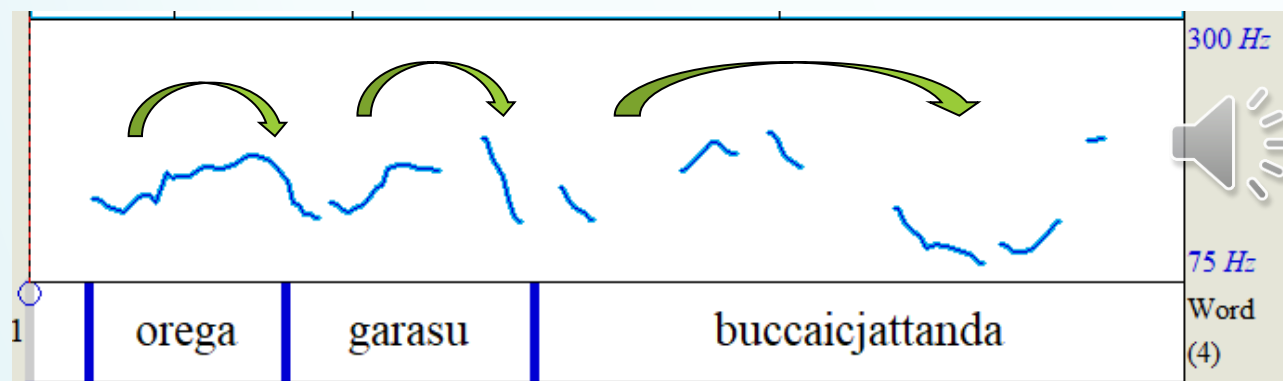


「俺」から山が一体化  
→ 卓 (音調の卓立)

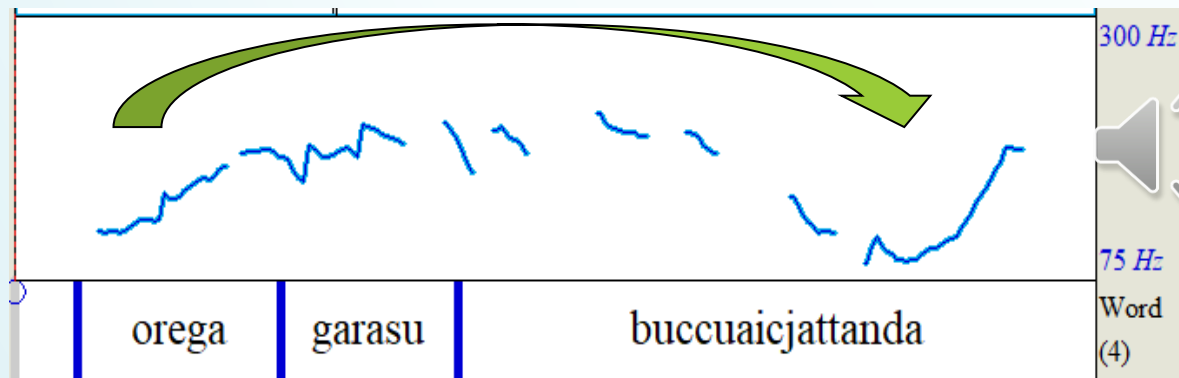
## 【文焦点】

「なんでじいちゃん慌ててんだい？」

「俺 {が / \*が + 卓} ガラスぶっつあいちゃったんだ。」



語ごとに上下の山  
→ が



「俺」から山が一体化  
→ が + 卓

【文焦点】「なんでじいちゃん慌ててんだい？」

「俺 {  $\phi$  / \*卓 / が / \*が + 卓 } ガラス……」

	1人称 俺	代名詞 あの人	人間 先生	無生物 瓦 / 洗濯機 / 洗濯物
Aガラスぶっつあいたんだ	$\phi$ / が			
ガラスAぶっつあいたんだ				
SA急に動いたんだ				
SP濡れっちゃったんだ				

イントネーションによる  
卓立があってはならない  
「が」はあってもなくてもよい

# 【文焦点】イントネーション卓立不可／「が」任意


	1人称 俺	代名詞 あの人	人間 先生	無生物 瓦／洗濯機／洗濯物
Aガラスぶっつあい ちゃったんだ	φ／が	φ／が	φ／が	φ／が
ガラスAぶっつあい ちゃったんだ	*	*	*	*
SA急に動いたんだ	φ／が	φ／が	φ／が	φ／が
SP濡れっちゃった んだ	φ／が	φ／が	φ／が	φ／が

\*「ガラス-A」の語順自体が不自然



## 【述語焦点】


「俺、ガラスさぶつかってさ」「ほんじ、あんたガラスどうしたんだい？」などに答えて




「ほんじ、洗濯物どうなったんだい？」などに答えて



## 【項焦点(WH応答)】



「{誰／何}ガラスぶつつあいたんだい？」などに答えて



## 【項焦点(対比)】

「太郎じゃねえ。俺がガラスぶつつあいちゃったんだ」など



# 【述語焦点】イントネーション卓立不可／「が」不可

	1人称 俺	代名詞 あの人	人間 先生	無生物 瓦／洗濯機／洗濯物
Aガラスぶっつあい ちゃったんだ	φ	φ	φ	φ
ガラスAぶっつあい ちゃったんだ	*	*	*	*
SA急に動いたんだ	φ	φ	φ	φ
SP濡れっちゃった んだ	φ	φ	φ	φ

\*「ガラス-A」の語順自体が不自然

# 【項焦点 (WH応答)】 イントネーション卓立必須 / 「が」任意

	1人称 俺	代名詞 あの人	人間 先生	無生物 瓦 / 洗濯機 / 洗濯物
Aガラスぶつつあい ちゃったんだ	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓
ガラスAぶつつあい ちゃったんだ	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓
SA急に動いたんだ	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓
SP濡れっちゃった んだ	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓	卓 / が + 卓

# 【項焦点(対比)】イントネーション卓立必須／「が」任意

	1人称 俺	代名詞 あの人	人間 先生	無生物 瓦／洗濯機／洗濯物
Aガラスぶっつあい ちゃったんだ	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓
ガラスAぶっつあい ちゃったんだ	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓
SA急に動いたんだ	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓
SP濡れっちゃった んだ	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓	卓／が+卓

# 福島県北部方言の主語標示

	「が」標示	イントネーションによる 焦点標示
述語焦点	不可	不可
文焦点	任意	不可
項焦点 (WH応答)	任意	必須
項焦点 (対比)	任意	必須

項焦点ならイントネーションによる標示は必須

主語 = 主題でなければ「が」標示は任意

# 京都市方言の主語標示(再掲)

# 京都では両方で標示

	「が」標示	イントネーションによる 焦点標示
述語焦点	不可	なし
文焦点	任意*	なし
項焦点 (WH応答、SP)	任意	なし
項焦点 (WH応答、A・SA)	必須	あり
項焦点 (対比)	必須	あり

\*標示の有無は有生性、語順との兼ね合いで決まる

助詞による標示／イントネーションによる標示  
……重要度は方言によって違う？

## 「が」標示は任意

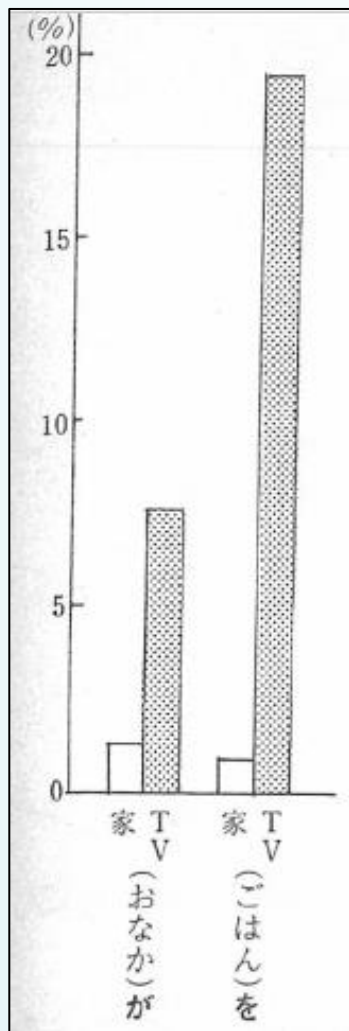
### 【程度差の問題①】

「有生性・動作主性」のクロス階層モデル(下地2019a)  
……あくまで程度差の問題

下地説に納得

[白岩の感覚]

福島県北部方言でもこの程度差はある気がする



## 【程度差の問題②】

スタイルが高くなると「が」「を」標示が増える(井上1992)

これも納得

山形県鶴岡市近郊調査(井上  
1992、家庭場面／TV出演場面)



## 5. まとめ

- 格・情報構造の標示には様々な要素が関わる
- 福島県北部方言では、まずイントネーションを重視せねばならない
- 「が」の有無は程度差として捉えるべき  
(有生性、動作主性、スタイルなど)



# 今後考えたいこと

ひとくちにイントネーション句といっても……

Accentual Phrase (Igarashi 2014)

今回はこれに注目

ある語から先のピッチ変動の山が一体化する

Intermediate Phrase (Igarashi 2014)

ある語から先のピッチ変動の幅が小さくなる

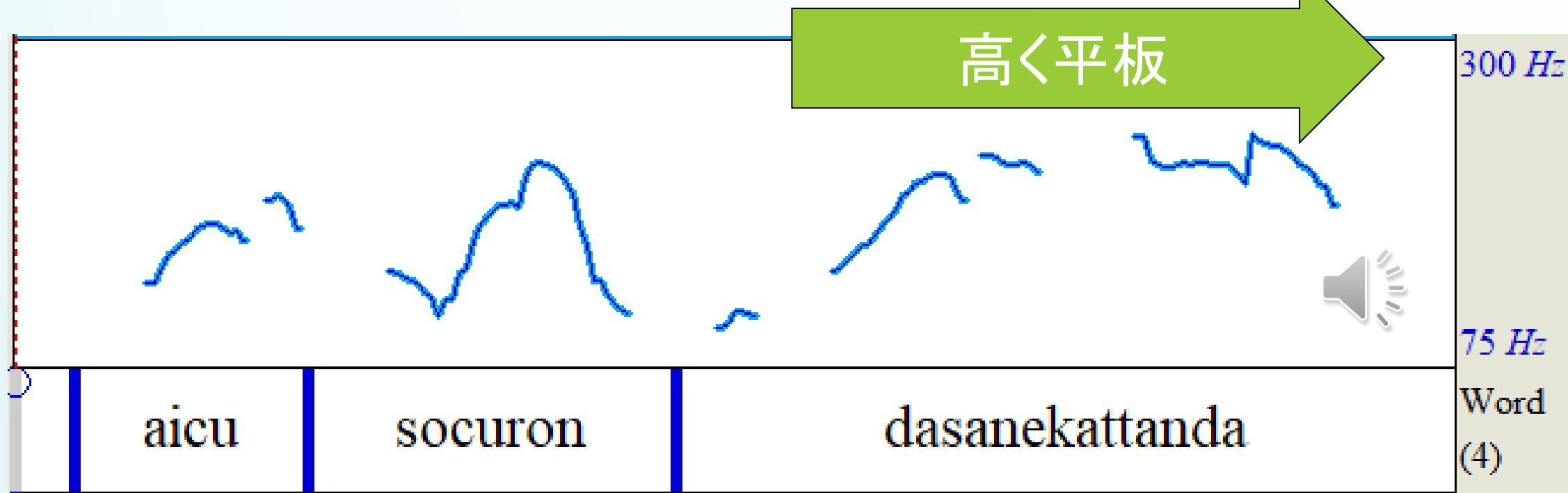
(≡アクセントの弱化)

山が一体化するわけではない  
統語構造の標示に関係？

# 述語焦点を標示するイントネーション(?)

「あいつ卒論どうしたの？」  
「あいつ卒論出さねかったんだ。」

述語焦点だと  
任意で出現？



# 参考文献

Igarashi, Yosuke. 2014. Typology of intonational phrasing in Japanese dialects. In Sun-Ah Jun (ed.), *Prosodic Typology II: The Phonology of Intonation and Phrasing*, 464–492. Oxford: Oxford University Press.

井上史雄(1992)「社会言語学と方言文法」『日本語学』11(6)

下地理則(2019a)「現代日本共通語(口語)における主語の格標示と分裂自動詞性」竹内史郎・下地理則編『日本語の格標示と分裂自動詞性』くろしお出版

下地理則(2019b)「日琉諸語の格体系の多様性の記述と説明モデルの構築を目指して」『日本語文法学会第20回大会発表予稿集』



## 参考文献

下地理則(近刊)「日琉諸語の格体系:概観と類型化」木部暢子・竹内史郎・下地理則編『日本語の格表現』くろしお出版  
(<https://www.academia.edu/32422637/>)

竹内史郎・松丸真大(2019)「京都市方言における情報構造と文形態:格標示とイントネーション標示による分裂自動詞性」竹内史郎・下地理則編『日本語の格標示と分裂自動詞性』くろしお出版



## 謝辞

本発表は国立国語研究所プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」、JSPS科研費JP19H01255(日琉諸語の有標主格性に関する基礎的研究)、JP19K00622(福島県相双方言の調査研究—方言研究は被災地にどのように貢献できるか—)の助成を受けた研究成果の一部です。



**ご視聴ありがとうございました**